特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 389 号] 令和 3 年 7 月 20 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

救助艇／大洪水に備える

令和3年(2021年) 7月20日号

SOKA

〒340-8550 ☎048-922-0151(代)
草加市高砂1-1-1 FAX048-922-3091
ホームページ 草加 検索
マチイロ で無料配信中

配布に関する問い合わせは（土・日曜日、祝日を除く）
松原1・2丁目 松原団地見守りネットワーク…☎048-933-9500
その他の地域 シルバー人材センター……☎048-928-9211

新型コロナワクチン 8面 優先接種対象を除く12～59歳の予約開始日を再調整

洪水に備える

利根川があふれたら
最大3m・1週間水が引かないことも

▶草加市内の家屋は2階以上へ浸水することはほとんどなく、土砂災害や川の水が押し寄せて家屋が流される想定はありません。
▶水害時にいつ・どのように行動するのか、事前に「マイ・タイムライン」を作り、いざというときの対応を想定しておきましょう。

問危機管理課☎922-0614FAX922-6591

3m

画像は、草加駅前が3m浸水した場合のイメージ

7 月 20 日（火）、『広報そうか』1 面トップに「洪水に備える」利根川があふれたら草加市近辺は水深最大 3m の大洪水になり、1 週間程度水が引かない・・と掲載されました。

近年、明治 43 年と昭和 22 年の 2 回に亘り利根川の堤防が決壊して、埼玉県東部地域や東京都は大災害を被っています。私たちは、この歴史を教訓にして来るべき利根川決壊を想定して生命や財産を守るための備えが必要です。

「ハザードマップ」確認

危機管理課（令和 3 年 1 月発行）のハザードマップは水害の予想水位や避難所など具体的な記載がされているので大変参考になります。

自衛隊・消防局の活動

水難救助は自衛隊・消防局のヘリコプターや救助艇が出動します。**草加市自主水防団**は、その**後方支援**でお手伝いさせていただきます。

ドイツ、ベルギー/洪水死者 150 人

ドイツ洪水「まるで津波」

死者150人超す

市街地 豪雨の備えなく

ドイツで西部を中心に豪雨被害が拡大し、18日までに少なくとも156人が死亡する惨事となった。被害に遭ったのは河川の氾濫などの発生が少ない地域と指摘され、気候変動が影響したとの見方が広がる。9月の連邦議会（下院）総選挙でも、気候変動対策が重要な争点になりそうだ。

（独西部ハーゲン　石崎伸生）

鉄鋼生産などで知られる西部の工業都市・ハーゲンでは広範囲で洪水が起き、17日、市街地は泥まみれの家財道具などが山積みになっていた。

住民のタビタ・ハントケさん(55)は、14日昼頃、近くの川から「まるで津波のような勢いで泥水が流れてきた」と振り返った。自宅の地下室は半時間で水没し、地元の消防当局の助言で、夫と娘の3人で近くの高台の親戚宅に避難したという。

住民の豪雨被害の備えも不足していたようだ。半世紀前からハーゲンに住むギゼラ・ハイマンさん(79)は自宅前の道路が冠水し「外に逃げることも出来なかった」。過去の洪水は約45年前だといい、「今回は比べものにならないほどひどい」と嘆いた。

浸水被害に遭った地域では建物の清掃や復旧作業が行われていた（17日、独西部ハーゲンで）＝石崎伸生撮影

オランダ　ベルギー　ベルリン　ドイツ　ハーゲン

西部の家屋（16日）＝AP

気候変動 総選挙争点に

今回の豪雨の影響でベルギーでは少なくとも27人の死亡が確認され、オランダでも被害が出た。ドイツなどで行方不明者も多数おり、犠牲者が増える恐れがある。メルケル首相は18日に独西部の被災地に入り、「連邦政府は地元政府と協力して秩序を取り戻すことに努める」と述べ、財政支援などを行う考えを示した。

独国内では、今回の豪雨と気候変動を関連付ける発言が相次ぐ。スベーニャ・

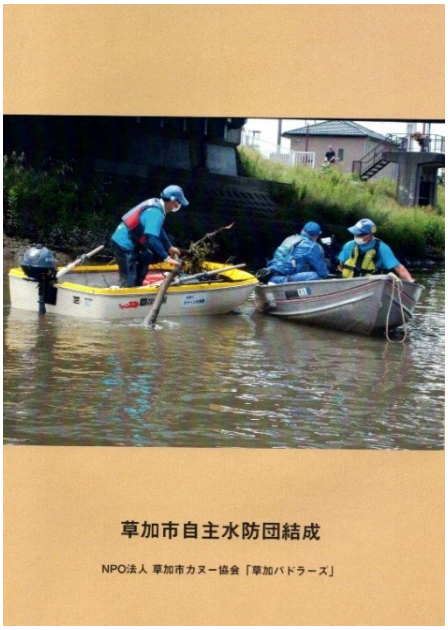
東京五輪の難民選手団のテコンドー代表候補だったワエル・ファラジュ選手(18)は、今年6月の最終選考で惜しくも外れた。

ヨルダン東部のシリア難民キャンプで指導にあたるヨルダン人のアセフ・サバハさん(51)は、「国際大会での実績不足」が原因だったとみる。シリア難民であ

手 希望失わず

＊ヨルダン

7月19日(月)、新聞やテレビの報道によると現地14日(水)**ドイツ西部の工業都市ハーゲン**では大洪水になり死者が150人を超える被害が出て「まるで津波のように洪水が襲ってきた」「道路が冠水して外に逃げることも出来なかった」と報じている。隣国ベルギーでも27名の死者が確認されたと云う。ベルギーのブリュッセル在住の友人との連絡では、特にドイツとオランダ国境付近の被害は大変なもので、近々近くの国立公園へ遊びに行く予定だったが、どうやら無理の様だ・・・と残念がっていました。



草加パトラーズは、「備えよ常に」を合言葉に自主水防団を発足させました。毎月末/水曜日に、5艇の救助艇で水難救助訓練を実施しています。

□完成した水防団結成の冊子
□7/18 定例活動で避難場所の確認